

2 どのタイミングで避難？

災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、5段階の警戒レベルを用いて避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報が発表されます。

警戒レベル	状況	とるべき行動	避難情報等
警戒レベル 5	災害の発生、または切迫	直ちに安全確保	緊急安全確保(町が発令)
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!			
警戒レベル 4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示(町が発令)
警戒レベル 3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難(町が発令)
警戒レベル 2	気象状況悪化	避難行動等の確認	大雨等注意報(気象庁が発表)
警戒レベル 1	今後、気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁が発表)

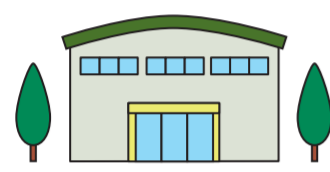
避難する場所を考えておきましょう

「避難」とは「難」を「避ける」こと。危険な場所にいる場合には、その場を離れて安全な場所に行く「立退き避難(水平避難)」が原則ですが、避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅、ホテルなどへ避難するのも選択肢の一つです。

立退き避難(水平避難)

町が指定した避難場所

小・中学校



自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等

安全な親戚・知人宅

親戚・知人宅



普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

安全なホテル・旅館

ホテル



通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

屋内安全確保(垂直避難)



ハザードマップを確認し、浸水深より居室は高く、水・食料などの備えが十分あり、水が引くまで我慢できる状況であれば屋内に留まることが可能です。但し、垂直避難をする場合には、電気・ガス・水道などのライフラインが使えずに長期孤立するおそれがあります。垂直避難した後も安全に避難生活を送るために、備蓄の重要性も理解しておく必要があります。

3 災害時の主な情報源は？

避難情報などは、防災行政無線やメール配信サービスなどを通じてお知らせします。防災行政無線の放送内容が聞きとりにくい場合は、電話でも確認できます。また、他の情報源も確認しておきましょう。

防災行政無線(同報系)

防災行政無線放送終了後、12時間程度の間で、電話で放送内容を確認することができます。

0120-376-742

LINE配信サービス

行政放送や気象警報・避難情報をLINEに配信するサービスを実施しています。



QRコードを読み取って、「追加」ボタンをタップすると登録完了です。

登録制メール配信サービス

行政放送や気象警報・避難情報を携帯電話やパソコンに配信するサービスを実施しています。



QRコードを読み取って、空メールを送信し仮登録を完了してください。
bousai.minabe-town@raidenn2.ktaiwork.jp

和歌山県防災ナビ

「和歌山県防災ナビ」アプリ(スマートフォン・タブレット)とは和歌山県防災ナビには避難に役立つ様々な機能を搭載しています。詳しくは和歌山県のホームページをご確認ください。

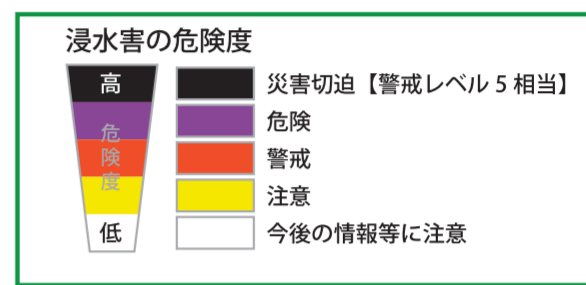
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/d00155183.html>



キキクル(危険度分布)

「キキクル(危険度分布)」とは気象庁が発表する防災気象情報で、大雨による土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度の高まりを5段階に色分けして地図上で確認できるシステムです。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



知っておこう

町で作成した他のハザードマップ

他のハザードマップも併せてご確認ください。災害リスクを把握し、適切な行動をとるために重要です。

洪水ハザードマップ



津波ハザードマップ



土砂災害ハザードマップ



防災重点ため池マップ



上記のハザードマップの他に標高マップ、大規模盛土造成地マップがあります。<https://www.town.minabe.lg.jp/bousai/02/>



4 避難の心得

風水害時の避難は、雨風などの影響により慣れた道でも思わぬ危険が潜んでいることがありますので、慎重に行動しましょう。



避難するときは、動きやすい服や靴で、2人以上で歩きましょう。



夜間の避難は周りの状況を確認しにくく、非常に危険です。暗くなる前に避難しましょう。



大雨時はアンダーパスは冠水するおそれがあるため、通行は避けましょう。

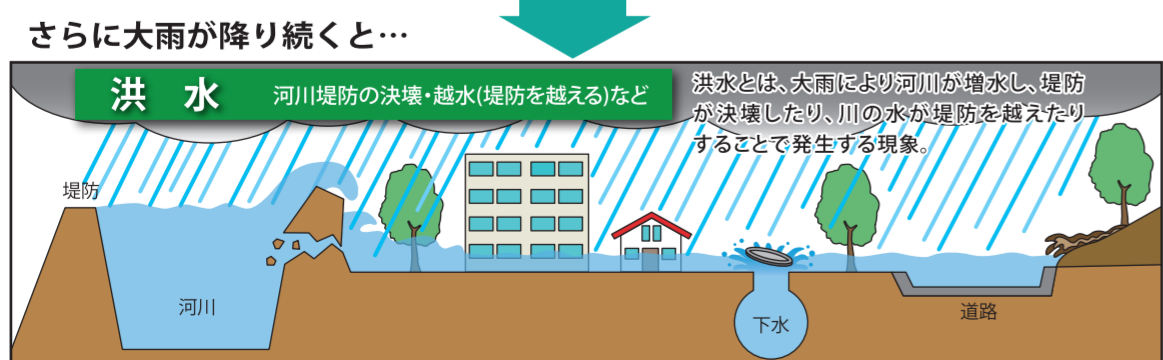
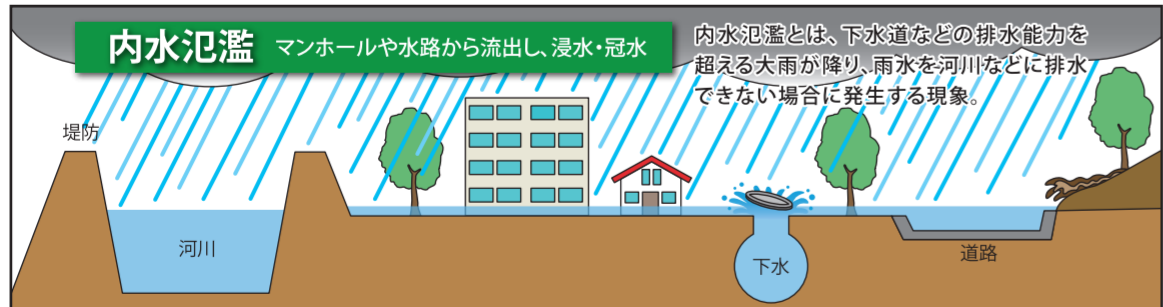
逃げ遅れた場合

- 浸水時に逃げ遅れた場合は、あわてず頑丈な建物の2階以上に垂直避難しましょう。
- 土砂災害時に逃げ遅れた場合は、自宅の2階以上で斜面から離れた部屋に避難しましょう。

知っておこう

内水氾濫と洪水(外水氾濫)

近年では、強い雨を降らせる「局地的大雨」や「集中豪雨」が多く発生しており、大量の雨を短時間で降らせるため、下水道の排水能力を超えて浸水する内水氾濫や洪水(外水氾濫)などの災害が多く発生しています。



みなべ町の過去の風水害

町では2000年以降、台風や豪雨の影響により10回以上災害が発生しており、2011年9月台風12号では、死者1名、全壊1棟、半壊1棟、一部損壊2棟、床上浸水45棟、床下浸水31棟の被害がありました。



平成28年(2016年)7月集中豪雨

5 水害に備える

(下のリストを参考に、個人や家庭に必要なものを準備しておきましょう。)

非常持出品

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食 (缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食 (チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶 (赤ちゃんがいる場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒薬	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの) <input type="checkbox"/> マイナンバーカード
衣類など	他	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 雨具(レインコートなど)	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯+予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ+予備電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話+充電器+バッテリー <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)

備蓄は、日常で食べているものを消費しながらストックする「ローリングストック」を!

蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら常に一定量の食品を備蓄する方法をローリングストックといいます。ふだん食べているカップめんや缶詰、インスタント味噌汁など少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を買い足すだけです。



家庭でできる簡易水防方法

家庭にあるものを使って水の侵入を防ぐ方法の例です。あくまでも水深の浅い初期で行うものです。

①ゴミ袋による簡易水のう 40L 程度のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れます。段ボール箱に入ると強度が増します。	②ポリタンクとレジャーシート ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結して使用します。
③プランターとレジャーシート 土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。	④板など 出入り口で長めの板などを使用します。
⑤吸水性ゲル水のう(使い捨てオムツなど) 軽量・コンパクトですが、水を吸うと膨張します。	

自主防災活動に参加しましょう

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき自主的に結成する組織です。大災害の発生時には、交通網の寸断などにより、消防や警察等の公的機関が十分に対応できない可能性があります。そのようなときに力を発揮するのが自主防災組織です。防災訓練など地域の自主防災活動に参加し災害時に備えましょう。

